

道路施設維持管理システム構築について

現在、長野県でシステム管理している道路施設：橋梁のみ



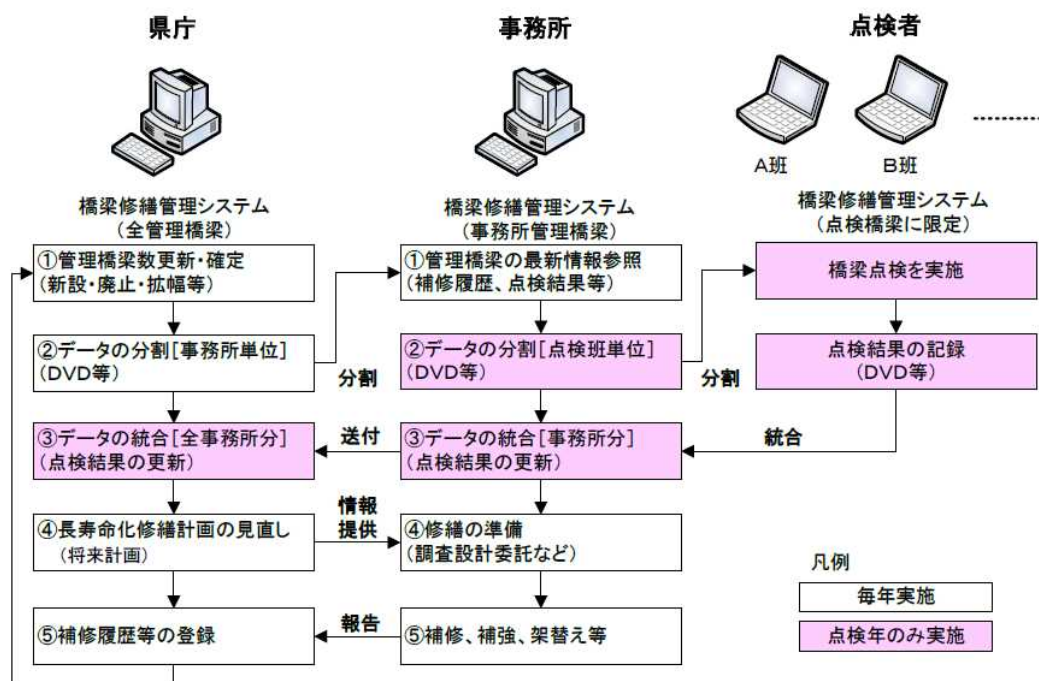
法定点検(77条調査)の対象	管理システム
橋梁	橋梁修繕管理システム
トンネル	点検調書(成果品)で管理
横断歩道橋	点検調書(成果品)で管理
シェッド・大型カルバート・門型標識	点検調書(成果品)で管理
その他(舗装)	点検調書(成果品)で管理

課題①

橋梁：各事務所のスタンドアロンでの運用

<運用イメージ（スタンドアロン方式）>

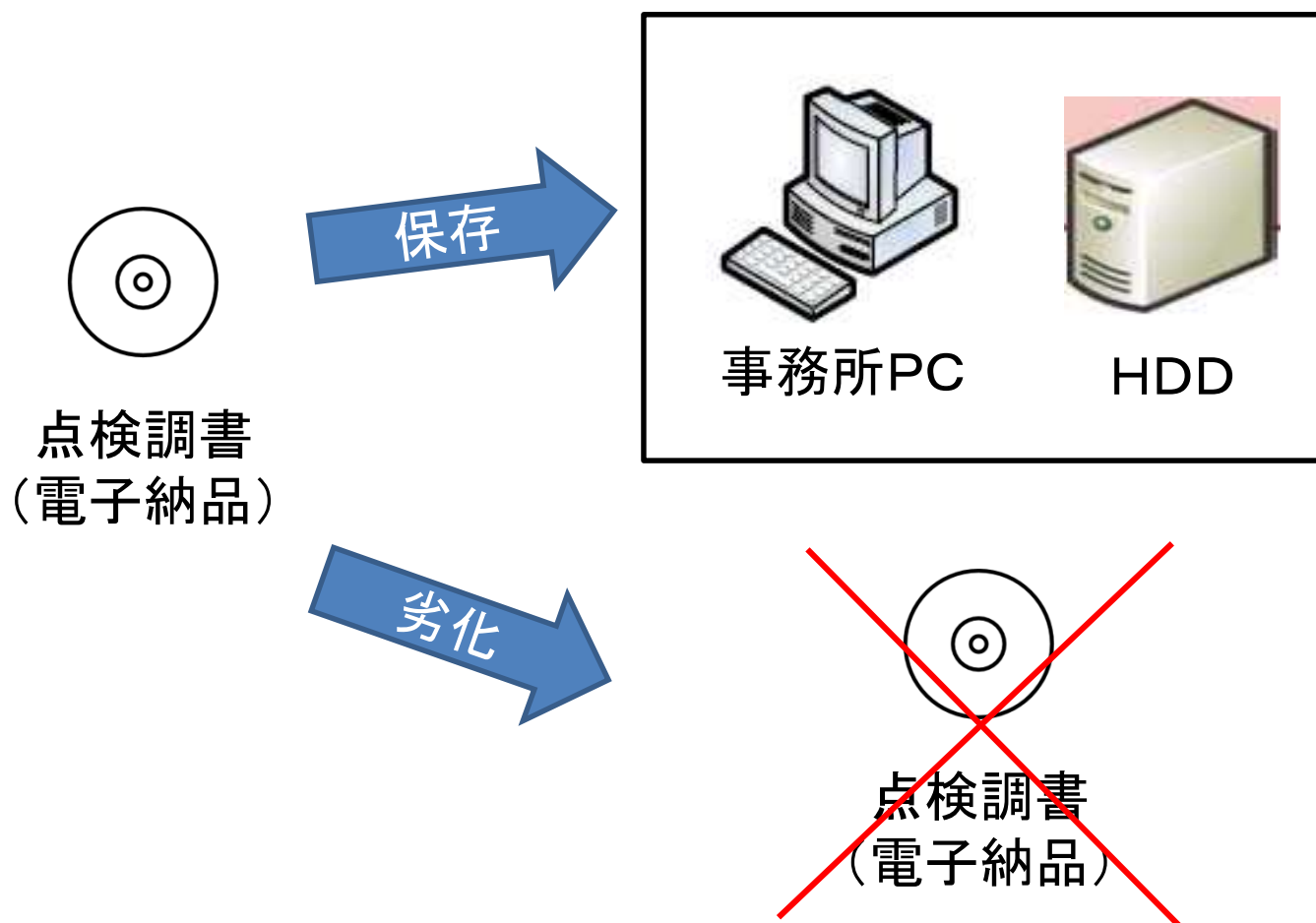
県庁にて定期的にデータの集約→更新→分割（事務所別）を行い、最新データを事務所に配布することを想定しています。



- データの郵送などの作業を要する
- 全県の状況をすぐに確認できない

課題②

橋梁以外:管理システムが未構築



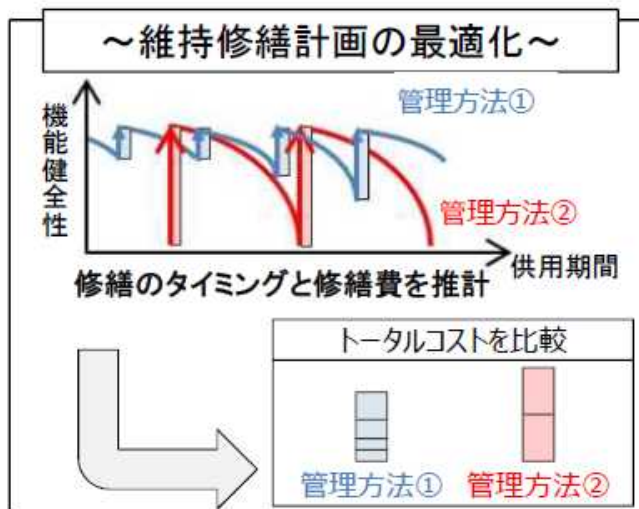
● 事務所毎にPC等へ保存 (バックアップ)しているが、検索に時間が必要

● 電子媒体 (DVD等)で管理 ⇒ 電子媒体の劣化に伴い点検結果等の消失の可能性あり

新たにシステムを構築して、機能強化を図りたい



国土交通省HPより



＜主な機能＞

- クラウド化(情報共有の迅速化)
- 管理システムの統一化
- 点検結果の共有(健全度の適正化) etc

